

特記仕様書記載例

第〇〇条 (工期)

1. 工期は、悪天候や気象状況、休日等を見込み算定している。

なお、悪天候や気象状況には猛暑日日数、1日の降雨量が10mm/日以上の日、積雪5cm以上の日、風速15cm以上の日を見込んでいます。

また、休日には日曜、土曜、祝祭日、年末年始(6日)、夏季休暇(8/13, 14, 15の3日間とする。ただし、日曜、土曜と重複する場合は、直前の平日とする。)を見込んでいます。

工期には、施工に必要な実稼働係数以外に以下の事項を見込んでいます。

準備期間	〇日間
後片付け期間	〇日間
不稼働係数 ※休日と天候等による作業不可能日を見込むための係数	〇
その他の作業不能日(〇〇のため)(R×.×.×~R×.×.×)	〇日間

想定される作業不能日については、1か月あたり〇日間とする。

(休日、降雨、降雪日の控除日数〇日間、猛暑日〇日間)

2. 著しい悪天候や気象状況により「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で見込んでいた日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を請求することができる。